

## 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
4 -	観光を振興する	市長室、産業振興部、公営事業部、都市整備部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
入込観光客の数 (年間)	万人	755	375	463			770
市と関係団体で作 成した観光メニュ ーの件数(累計)	件	9	11	13			14
関連事業							
海岸エリア魅力発信事業 魅力ある花火大会開催事業 七夕まつり開催事業 観光事業 着地型 観光推進事業 競輪場活用推進事業 新港大浜アクセス道路整備事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		19,330	20,155				
執行率(%)		81.62	96.91				
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「観光資源の魅力アップと着地型観光」の推進」 市民活動団体と連携し地域資源を活用した観光プログラムを開発し情報発信することで、来訪者の増加とともに地域経済の活性化を図りました。</p> <p>「誰もが観光を楽しめる受入体制の整備」 多言語に対応している観光協会のホームページや多様な地域資源を活用した観光メニューを提供することで、観光客のニーズを踏まえた受入環境づくりに取り組みました。</p> <p>「市民協働」「市民参加型」による七夕まつりの推進と資金調達による拡充」 新型コロナウイルス感染症の影響により湘南ひらつか七夕まつりは中止となりましたが、七夕を感じられる代替イベント「湘南ひらつか七夕まつり2021」を実施しました。街中への七夕飾りの掲出やオンラインイベントなどの運営は市民団体等が担い、今後の市民協働や市民参加につなげるための取組を行いました。</p>							

「様々なターゲットに対応した効果的な情報発信」

インスタグラムなどのSNSや、定住促進特設ウェブサイト、高校生と共催した写真展など、様々な媒体で海岸エリアの魅力を市内外に発信しました。

観光協会や湘南地区観光振興協議会や県と連携し、観光マップやSNS等を活用した観光情報を発信する事で、多様な観光ニーズに対応した効果的な情報発信を行いました。

「シェアサイクル事業の実証実験を踏まえた実施」

湘南地域自転車観光推進協議会や事業者と連携しシェアサイクル事業を拡充することで、シェアサイクルによる周遊観光の促進を図りました。

「地域に開かれたにぎわいの場としての競輪場の活用」

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しながら、競輪開催中のイベントとして自転車教室、ワークショップ、フォトコンテスト、地元選手のトークショー等を実施しました。非開催日には、バンクを県自転車競技連盟の練習、大会、合宿で活用されました。また、場内環境の整備と地域に開かれた競輪場のイメージの醸成の結果、近隣の認定こども園や保育園、小学校の遠足などで訪問されたり、正門前広場等は、犬猫の譲渡会、子供のキックバイクの練習会、警察や消防の訓練などで利用され、地域に開かれた競輪場として活用が図られました。

「新港大浜アクセス道路整備事業の推進」

土地利用の方向性についての検討を行うとともに、関係機関と進捗状況について情報共有を行いました。

施策を推進する上での「課題」

「観光資源の魅力アップと着地型観光」の推進、「誰もが観光を楽しめる受入体制の整備」

観光需要の変化を踏まえるとともに、平塚の魅力発信につながる地域資源を活かして、更なる集客を図る必要があります。

「市民協働」「市民参加型」による七夕まつりの推進と資金調達による拡充」

コロナ危機でも開催可能なまつりの開催方法を検討したうえで、関係団体や市民参加を促す必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

「観光資源の魅力アップと着地型観光」の推進、「誰もが観光を楽しめる受入体制の整備」

市内の関係団体や企業を結び付け、連携することで、観光客の受け入れ体制を整えるとともに、地域資源を活かした魅力的な観光プログラムを開発します。

「市民協働」「市民参加型」による七夕まつりの推進と資金調達による拡充」

コロナ危機でも来場者が安心して楽しむことができ、市内経済の活性化に繋がる開催を実現するため、市内団体との役割分担や、市民参加のあり方を検討します。

「様々なターゲットに対応した効果的な情報発信」

市が費用負担をしなくてもテレビ番組や雑誌などの各種メディアが自発的に本市の海岸エリアの魅力を上げていただく状況を目指していく必要があります。市や観光協会ホームページや他団体のSNS等を活用し、多様な観光客のニーズに合わせた観光情報を発信する必要があります。

「シェアサイクル事業の実証実験を踏まえた実施」

コロナ危機における移動手段として、シェアサイクルの需要が高まっていることから、事業者と連携した情報発信や実証実験を基にしたサイクルポートの設置を推進する必要があります。

「地域に開かれたにぎわいの場としての競輪場の活用」

感染症拡大の影響を考慮しつつ、より多くの幅広い世代の方々が競輪場に訪れ、親しみを持っていただけるよう競輪関係はもとより、様々な分野のイベント等の実施や民間主体のイベント等も誘致し効果を上げる必要があります。そのため、様々なニーズに応じたイベント等を天候にも捉われずに実施できる施設整備が必要です。

「新港大浜アクセス道路整備事業の推進」

当該地が行政財産である国有地であることから、土地の利用について土地所有者（国）、財産管理者（県）と協議するとともに、交通管理者（神奈川県警）と交通協議が必要となります。

「様々なターゲットに対応した効果的な情報発信」

メディアに取り上げていただけるような魅力を掘り起こすとともに、市や観光協会ホームページや他団体のSNS等を活用して、最新の観光情報を発信していきます。

「シェアサイクル事業の実証実験を踏まえた実施」

湘南地区自転車観光推進協議会と事業者と連携し、シェアサイクル事業を拡充し、シェアサイクルによる市内周遊や広域観光を促進します。

「地域に開かれたにぎわいの場としての競輪場の活用」

競輪開催に合わせて、来場のきっかけとするため、集客力のあるイベント等を実施するとともに、非開催中において庁内外を問わず競輪場の活用を促します。さらに、改訂する施設整備計画に基づき多種多様なイベント等の実施が可能な施設を整備します。

「新港大浜アクセス道路整備事業の推進」

交通管理者との協議に向けて、土地所有者及び財産管理者と道路整備を進めるための条件を整理するとともに、適切な道路の規模や構造の検討を行います。